



インフラメンテナンス国民会議

平成28年11月28日設立

「インフラメンテナンス国民会議」とは

○インフラメンテナンスに産学官民の技術や知恵を総動員するプラットフォームとして活動しています。

組織体制

■会長 富山 和彦 株式会社経営共創基盤(IGPI) IGPIグループ会長 株式会社日本共創プラットフォーム(JPiX) 代表取締役社長	■副会長 家田 仁 政策研究大学院大学 特別教授
--	---------------------------------------

実行委員会

国民会議全体の運営

目的

- ①革新的技術の発掘と社会実装
- ②企業等の連携の促進
- ③地方自治体への支援
- ④インフラメンテナンスの理念の普及
- ⑤インフラメンテナンスへの市民参画の推進

954の首長が参画
<参画率50%以上！>

会員数 (令和5年4月30日時点)

2,760者

行政会員	1,327者
企業会員	975者
団体会員	172者
個人会員	286者

(R4.4.28設立)

インフラメンテナンス市区町村長会議

- ・首長同士の意見交換による知見や意識の向上
- ・トップダウンによるインフラメンテナンスの強力な推進
- ・社会に対するインフラメンテナンスの必要性の啓発

※「インフラメンテナンス市区町村長会議」は、行政会員である市区町村の長によって構成

公認フォーラム

革新的技術

オープンイノベーションによる異業種の連携や技術の融合、マッチング

自治体支援

地方公共団体の課題解決、地方公共団体のニーズ・民間企業等のノウハウの情報交換

技術者育成

地域における技術者育成の活動を支援

市民参画

インフラやメンテナンスへの関わりを深めるための実践活動を展開

海外市場展開

海外への情報発信や海外展開案件形成

地方フォーラム

地方におけるオープンイノベーション推進等(全国10ブロック)

公認フォーラムの活動内容例

○産学官民の会員ネットワークを活かし、自治体や地域の取組の発展に向けて活動を行います。

新技術の活用



メンテナンスの課題を解決する技術等の紹介や技術マッチング



新技術の導入検討のための現場試行の調整

地域一体で取り組むメンテナンス



地域が主体となったメンテナンス活動の紹介



地域一体の取り組みへのサポート

民間のノウハウ活用



包括的民間委託等の民間活用の取組事例の紹介



個別施設計画の策定・実施の課題解決につながるアイデア紹介

技術者体制づくり



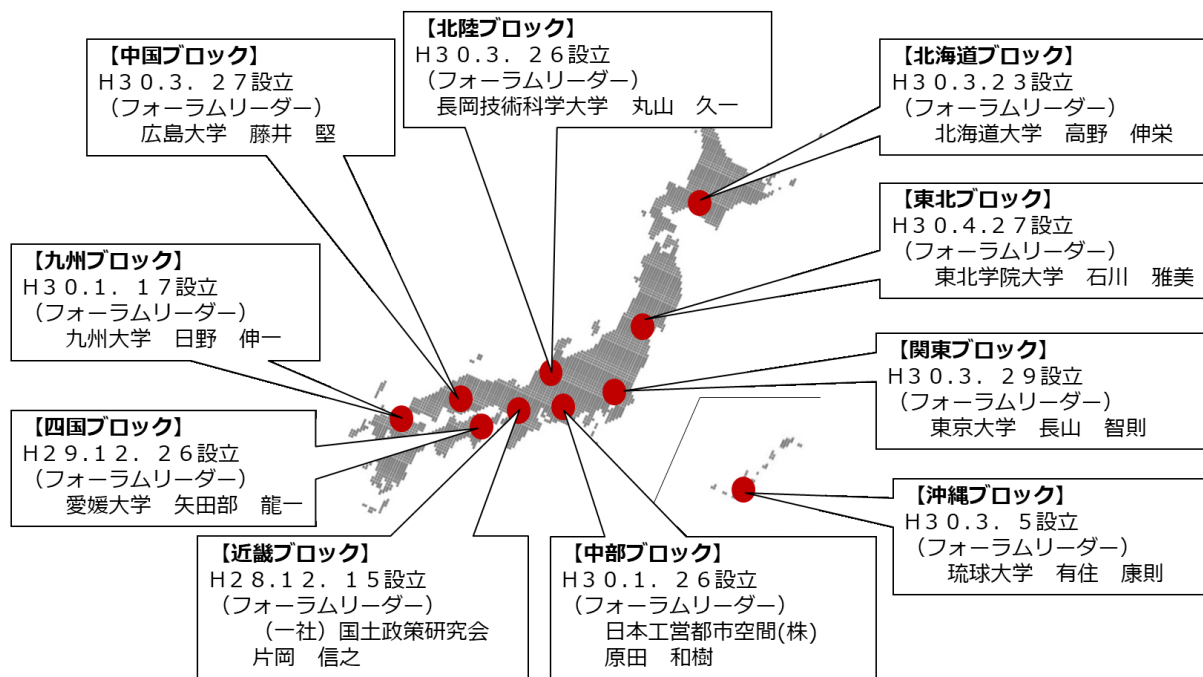
技術者の確保や育成に関する各地での取組紹介



地域における技術者派遣の仕組みづくりの支援

産学官民の総力を挙げて地域のメンテナンスに取り組む 行政団体、民間企業、団体、個人を募集しています！

- 全国各10ブロックで地方フォーラムを設立し、取組を展開
- ・施設管理者が抱える課題(ニーズ)の調査・収集
 - ・民間企業等が保有する技術(シーズ)とのマッチング
 - ・実証実験 ・情報共有 など



インフラメンテナンス国民会議への入会方法 (会費無料)

インフラメンテナンス国民会議 で検索頂き、会員申込のページから入会申込書をダウンロードして必要事項をご記入の上、事務局まで送付下さい
(インフラメンテナンス国民会議ウェブサイト トップページ)



※フォーラムイベント、会員の取組等をホームページでお知らせしています。
会員向けにメールで情報発信をしています。

事務局

国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 佐々木、吉田
TEL:03-5253-8111 (内線24563、24535) 直通 03-5253-8912

国土交通省 大臣官房 公共事業調査室 大西
TEL:03-5253-8111 (内線24296) 直通 03-5253-8258

MAIL : hqt-jcim-sogo@gxb.mlit.go.jp

「インフラメンテナンス市区町村長会議」への参画を希望される自治体は、上記事務局にご連絡ください。
※まず、インフラメンテナンス国民会議に「行政会員」として入会いただく必要があります。